

2024年度 広島ガスグループ中期経営計画



このまち思いエネルギー。

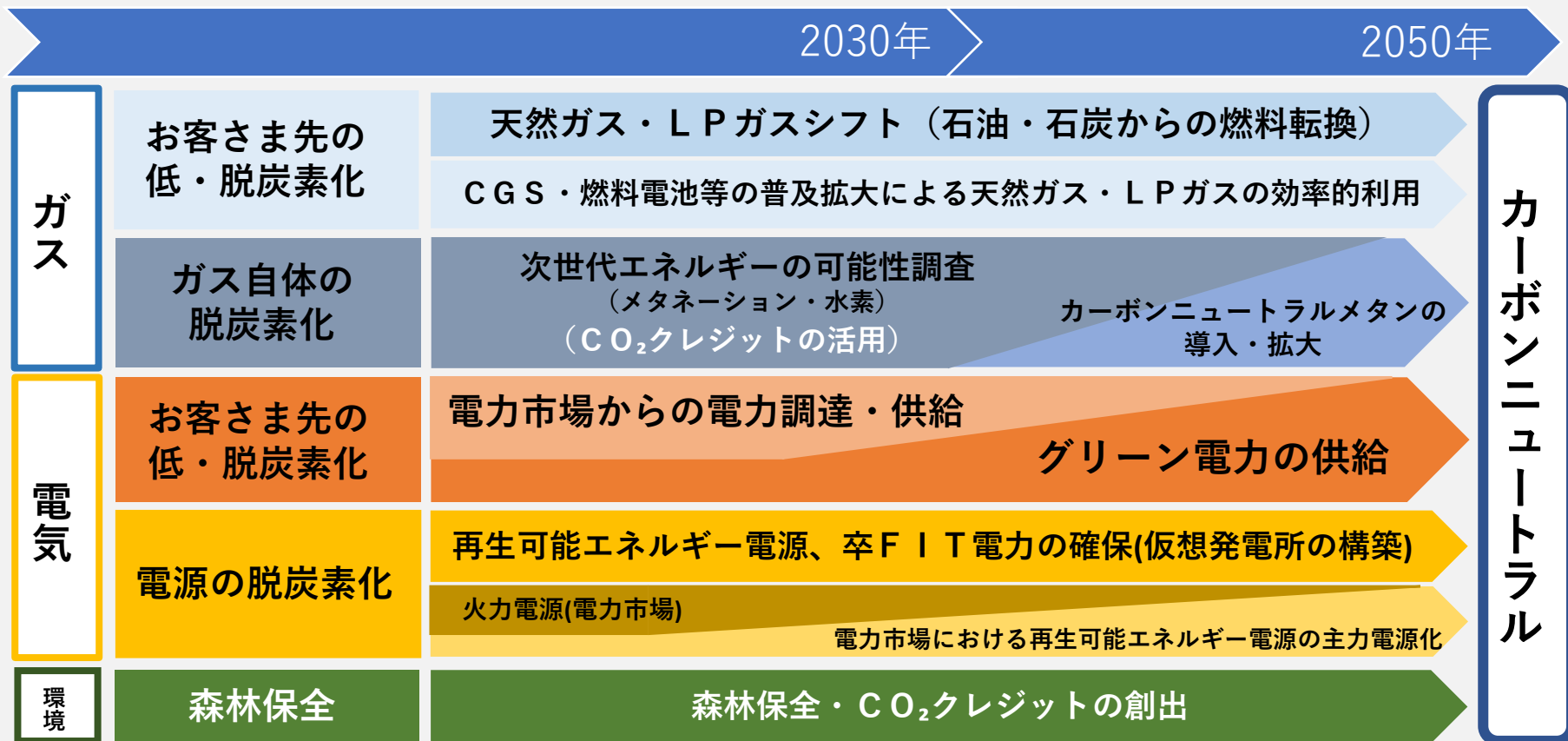
広島ガス株式会社

2024年4月2日

1. 2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み
2. 2024年度中計 グループの力を結集するポイント
 - (1) 都市ガス・LPG事業の「深化」
 - (2) イノベーションの「創出」
 - (3) 経営基盤の「強化」
3. 事業ポートフォリオについて
4. ガス需給計画
5. 設備投資計画
6. 資本コストおよび株価を意識した経営に向けて

1.2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み

- トランジション期においては、**天然ガス・LPガスシフトの推進が中心**
- 合わせて、メタネーションや水素・アンモニアの活用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組む
- 電気分野では、**電力小売り**と再生可能エネルギー**電源の開発の両輪**でCNを目指す



カーボンニュートラル

2.2024年度中計 グループの力を結集するポイント

電力事業を新たな成長戦略の柱に位置づけ、イノベーション創出を目指す

2050年カーボンニュートラル 

2030ビジョン目標 

2024年度中計

都市ガス・LPG事業の「深化」

燃料転換を中心としたガス拡販

e-methane(合成メタン)等の活用
に適したエリアへの新規導管延伸

イノベーションの「創出」

電力事業の拡大

電力小売り事業の拡大
再エネ電源の開発

価値創造に向けて成長原資を再分配

経営基盤の「強化」

組織の全体最適化・DX

2.(1)都市ガス事業の「深化」

ガス事業
「深化」

イノベーション
「創出」

経営基盤
「強化」

石油・石炭等からの燃料転換にグループの力を結集し、
計画中の潜在需要（超大口）物件獲得を実現

成果（2023年度）

- ✓ 既存幹線エリア
 - 燃料転換実績
既存需要家の蒸気ボイラー燃料転換等
8,000千m³規模（2023年度見込み）
※LNGでの供給を含む

主な取組計画（2024年度中計）

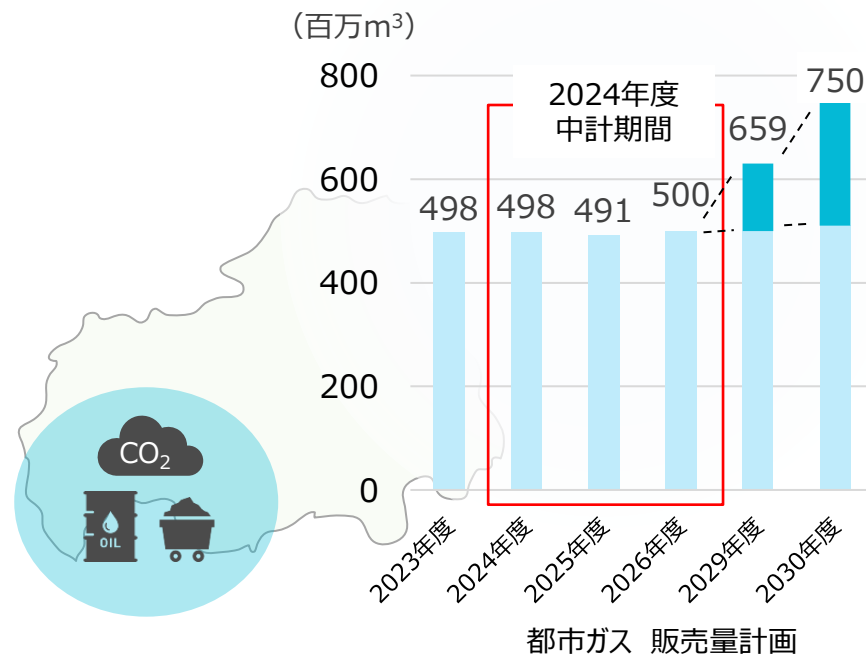
- ✓ 新規幹線延伸エリア
 - 協議中需要家との継続協議
 - e-methaneの需要とオンサイト製造の可能性を含め検討
- ✓ 既存幹線エリア
 - 既存需要家の更なる増量に向け継続協議

推計量・効果（2030年度）

潜在需要量 **240** 百万m³

※現在、供給に向けて協議中の燃転潜在需要量

CO₂削減効果 **37** 万t-CO₂/年（想定）



2.(1) LPG事業の「深化」

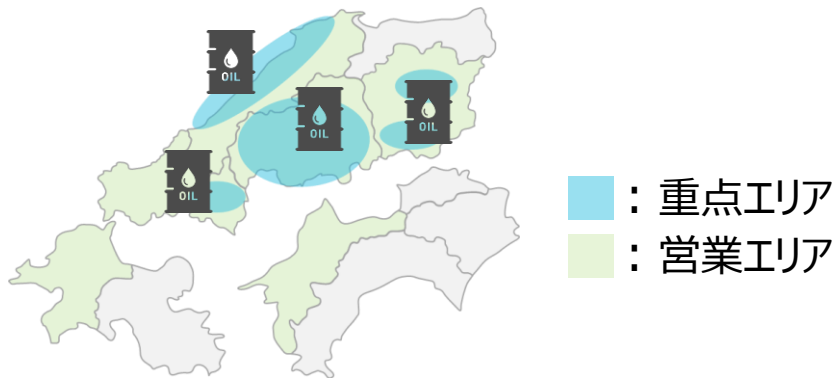
LPガス販売量の獲得（重油からの燃料転換など）

成果（2023年度）

- ✓ 広域営業
福岡県での顧客獲得をはじめ着実に推進
- ✓ ワンストップ営業
東広島市ESCO事業への供給

主な取組計画（2024年度中計）

- ✓ 重点エリアでの広域営業を積極的に展開
- ✓ 都市ガスとのワンストップ営業の推進

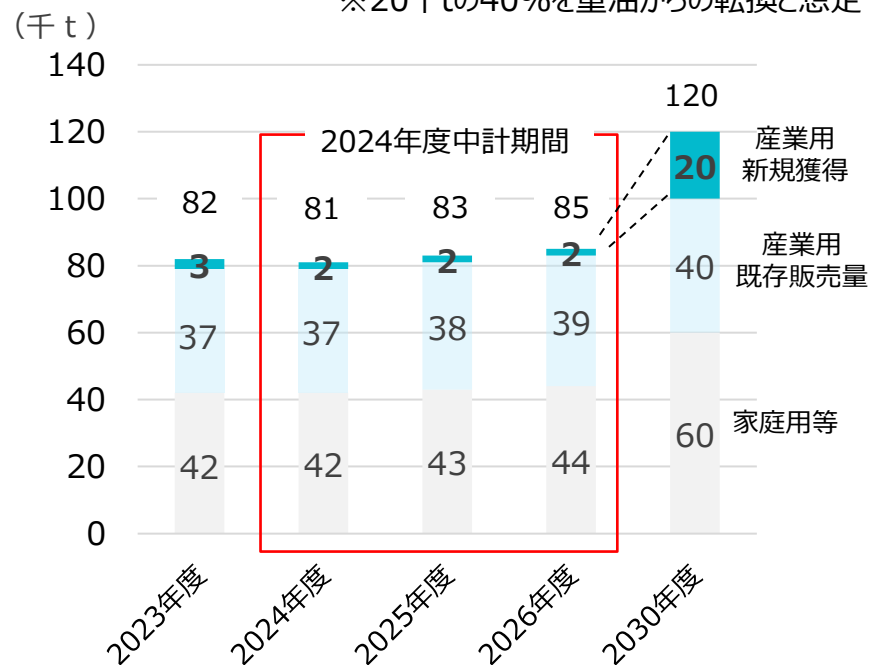


推計量・効果（2030年度）

潜在需要量 **20** 千t

CO₂削減効果 **3,120** t-CO₂/年 (想定)

※20千tの40%を重油からの転換と想定



LPガス 販売量計画

※2023年度は見込み、2030年度はビジョンの目指す姿

電力小売り事業への挑戦と拡大

成果（2023年度）

- ✓ **グリーン電力の一般販売開始**
2024年1月 販売開始

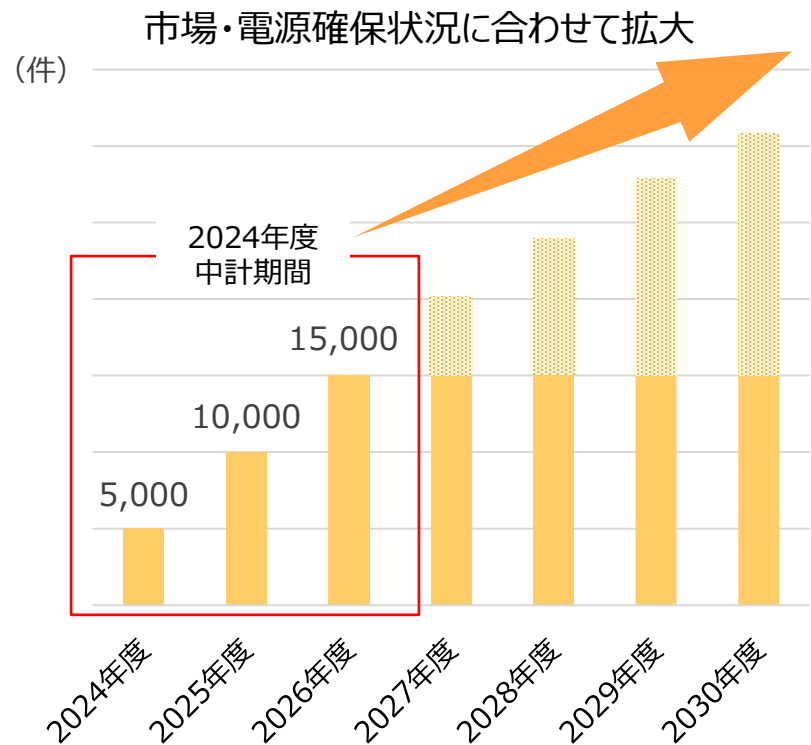


主な取組計画（2024年度中計）

- ✓ **グリーン電力の販売拡大**
 - ・ 営業施策展開の確実な実施
 - ・ 代理店への販売活動支援
- ✓ **お客さまの対象拡大**
 - ・ 新たな電気メニュー・サービスの検討・実施

目標（2026年度）

電気需給契約件数 **1.5** 万件

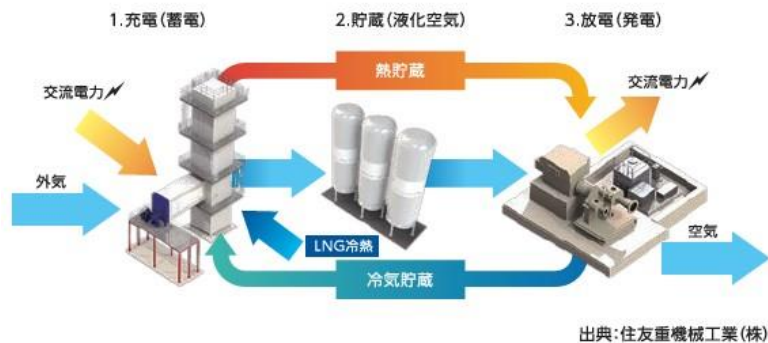


電気需給契約件数計画

再生可能エネルギー電源の開発を継続拡大

成果（2023年度）

- ✓ 「東尾道太陽光発電所」着工
※発電規模850kW、2024年度事業開始
- ✓ 事業用地 取得
- ✓ 「LAES商用実証プラント」着工
※再生可能エネルギーの普及や電力需給の安定化に資するLNG冷熱を活用した蓄電事業、2025年運転開始予定

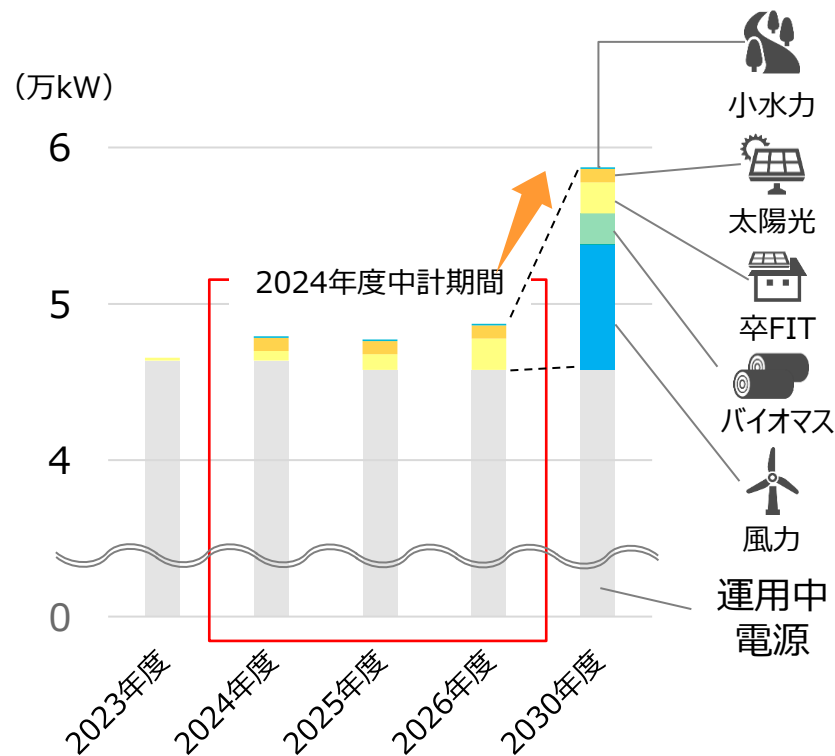


主な取組計画（2024年度中計）

- ✓ 取得した事業用地での電源開発を実行
 - ・ バイオマス発電事業の検討
 - ・ 風力発電事業の検討（風況調査を実施中）

目標・効果（2030年度）

開発目標 **6** 万kW
CO₂削減効果 **25** 万t-CO₂/年

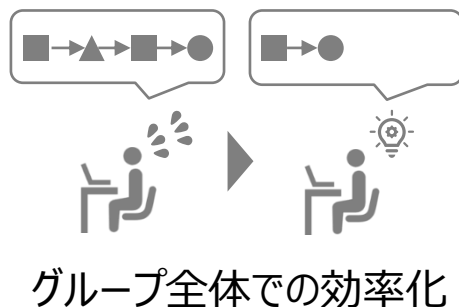
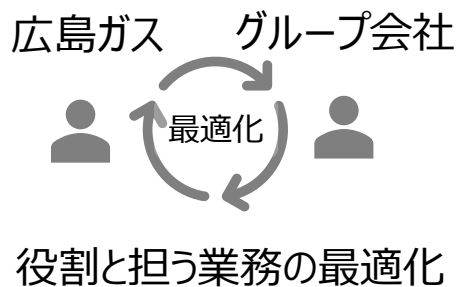


再エネ電源 開発計画

2.(3) 経営基盤の「強化」

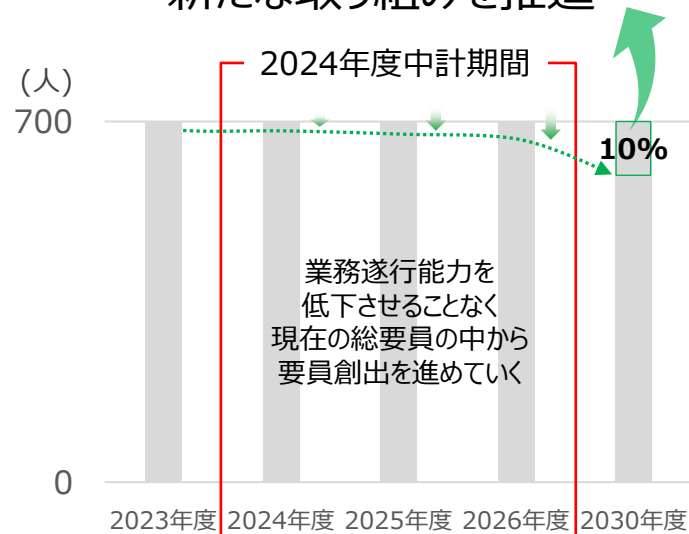


人的資本の価値向上と確保のための、業務改革を実行
2050年CNに資する事業へ要員を再配置



戦略的な人材獲得と配置

2050CNに向け要員再配置
新たな取り組みを推進



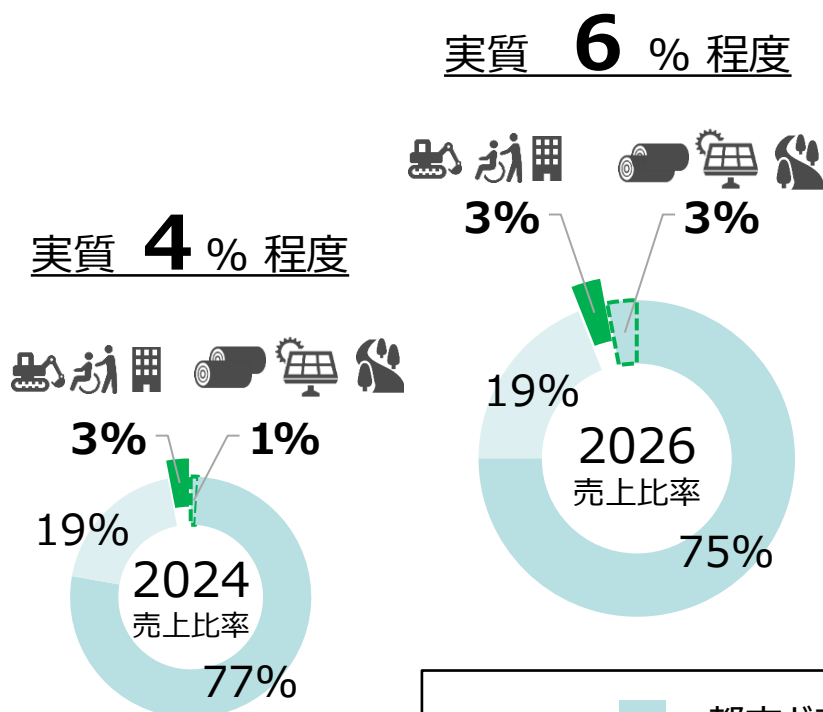
広島ガス要員数 (イメージ)

3.事業ポートフォリオについて

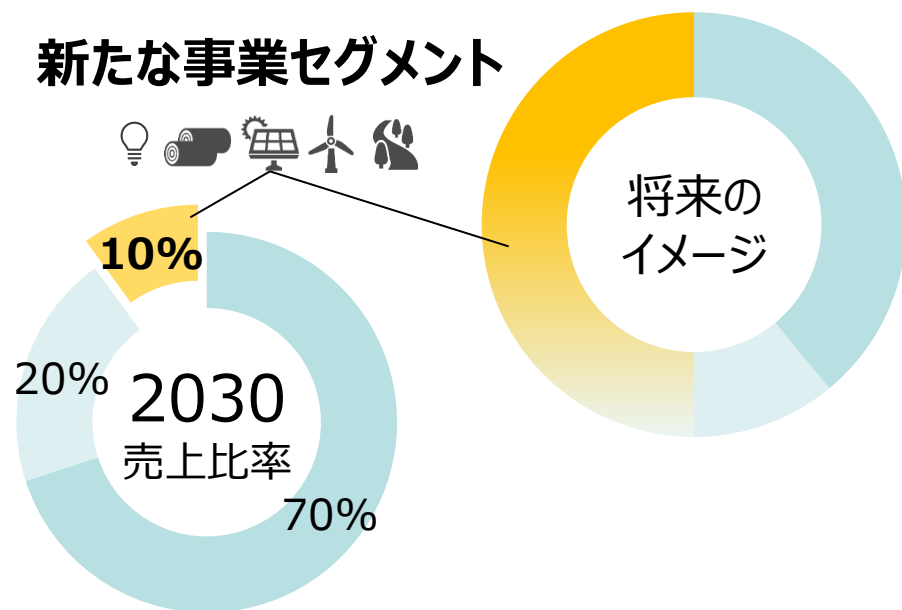
電力事業の拡大と、新セグメントとしての確立・拡大を目指す

2024年度中計期間

2030ビジョンからその先へ



新たな事業セグメント



凡例	: 都市ガス事業	: その他事業 (建設工事・介護・保険代理店)
	: LPG事業	: 再エネ等 (現状、都市ガス事業に含むもの)

4. ガス需給計画

- (1) 都市ガス事業（家庭用/業務工業用）
 - お客さま先の低・脱炭素化に向けた「石油・石炭からの燃料転換」の更なる提案により、販売量の拡大をめざす。
- (2) 都市ガス事業（卸供給等）
 - 卸先の販売量の拡大や新規開発を支援し、卸供給量の拡大に取り組む。
- (3) LPG事業
 - 都市ガスとLPガスの協働営業の強化などにより、工業用などの新規開発営業を推進する。

需給計画		2023年度 (見込み)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)
都市ガス (百万m ³)	家庭用/ 業務工業用	397	401	409	414
	卸供給等*	101	97	82	86
LPG (千t)		82	81	83	85

* 液売り・CNGを含む

5.設備投資計画

(1) 都市ガス事業

- ガス販売量の普及拡大に向け安定供給体制を確保するため、中長期的な視点で製造設備および供給設備の増強・改修・入替等を計画的・効率的に実施する。

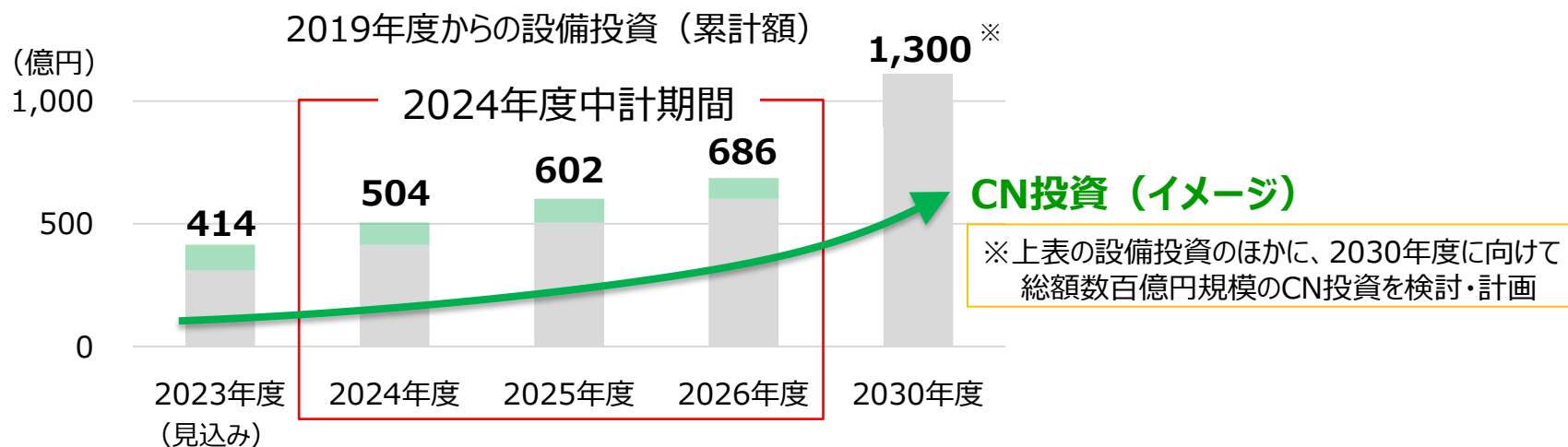
(2) LPG事業

- コミュニティガス団地における経年劣化した導管をPE管等の耐震性の高い導管への取り換えを継続実施する。

(3) カーボンニュートラル投資（以下「CN投資」）

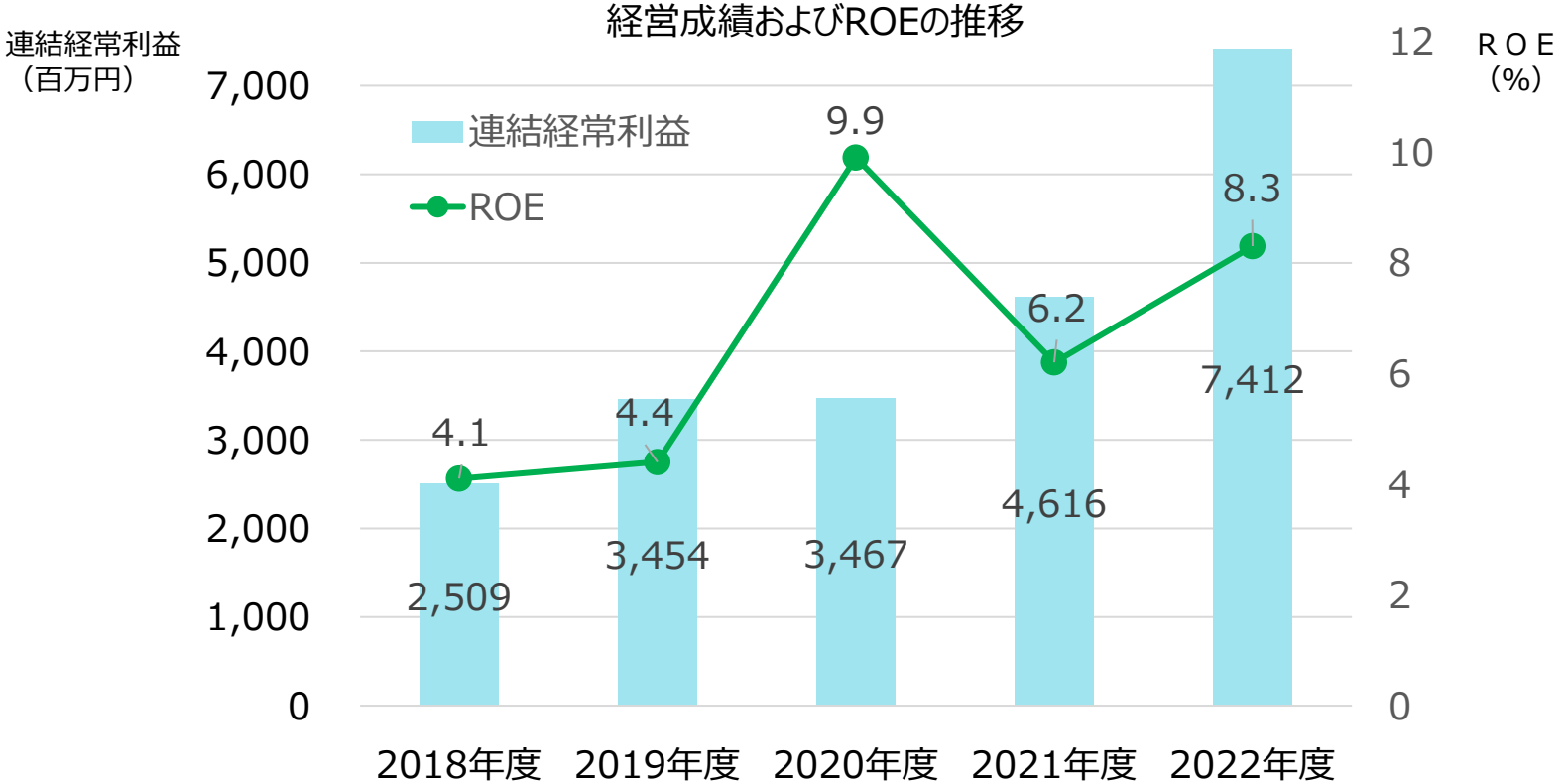
- 再生可能エネルギーの導入拡大や低炭素化などに貢献する投資を実施する。

広島ガスグループ設備投資	2023年度 (見込み)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)
設備投資合計額 (内、CN投資)	104億円 (28億円)	90億円 (16億円)	98億円 (12億円)	84億円 (8億円)



6. 資本コストおよび株価を意識した経営に向けて

中期経営計画の取り組みを着実に実行し
企業価値の向上とPBRの向上を目指す



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
P B R	0.49	0.49	0.50	0.37	0.38
期末株価 (円/株)	345	358	416	335	354

6. 資本コストおよび株価を意識した経営に向けて

■ 主な取り組みについて

✓ 電力小売り事業の拡大

- 「グリーン電力」の一般販売を2024年1月に開始
- 当社の電気は、再生可能エネルギー由来の非化石証書等を活用
- CO₂の排出を**実質ゼロ**にした環境にやさしい電気
- 地域のお客さまにCO₂の排出が**実質ゼロ**となる電気を提供し、**環境に貢献**



✓ サステナビリティ戦略と一体化した成長戦略の推進

- 適時・適正なIRの継続による投資家の広島ガスへの理解向上
- 当社ホームページに、新たに**サステナビリティのページ**を作成し公表
- 当社の事業活動と社会的な課題についてご理解を頂き、**企業価値向上**を目指す



以上